

テーマ	全経対策 (IV)：その他期中取引・固定資産・有価証券・租税公課・引出金・精算表								
学籍番号								氏名	

1. 次の取引について仕訳を示しなさい。(全経 3 級対策)

- (1) 経法銀行より 1,000,000 円を約束手形を振り出して借り入れ、利息を差し引かれた手取金を当座預金とした。なお、借入期間は 73 日、利率は年 7%である (1 年は 365 日とする)。
- (2) 八尾商店から商品 800,000 円を仕入れ、代金のうち 200,000 円は注文時に支払った手付金と相殺し、300,000 円は花岡商店振出、当店受取の約束手形を裏書譲渡し、残額は翌月払いとした。
- (3) 出張中の従業員から振り込まれた 300,000 円 (仮受金で処理済) のうち、200,000 円は得意先からの売掛代金の回収であり、残額は商品代金の内金であることが判明した。
- (4) さきに売買目的で額面 100 円につき 96 円で買い入れた楽音寺食品㈱の社債のうち、額面総額 4,000,000 円を額面 100 円につき 97 円で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
- (5) 売買目的で当期中に取得した北本町商事㈱株式 750 株 (購入単価@300 円、購入手数料 15,000 円) のうち、200 株を 1 株あたり 365 円で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
- (6) 店舗の火災保険料 90,000 円と店主の生命保険料 60,000 円を小切手を振り出して支払った。なお、資本の引き出しについては、引出金勘定を使用して処理すること。

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		

授業の感想など	
---------	--

テーマ	全経対策 (IV)：その他期中取引・固定資産・有価証券・租税公課・引出金・精算表							
学籍番号								氏名

2. 次に示した、期末整理事項にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 1 年間である。(全経 2 級対策)

- (1) 期末商品の棚卸高は ¥983,000 である。なお、売上原価は売上原価勘定を使用して算定すること。
- (2) 受取手形および売掛金の期末残高に対して 3% の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。
- (3) 備品について、定額法により減価償却を行う。耐用年数は 5 年、残存価額はゼロである。
- (4) 売買目的有価証券を ¥3,050,000 に評価替えをする。
- (5) 消耗品の期末未消費高は ¥12,290 である。
- (6) 保険料は、毎年 6 月 1 日に向こう 1 年分支払っている。

精 算 表

勘定科目	試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1,127,000							
受取手形	1,200,000							
売掛金	1,500,000							
売買目的有価証券	2,850,000							
繰越商品	878,000							
備品	900,000							
支払手形		988,000						
買掛金		1,220,000						
借入金		3,000,000						
貸倒引当金		64,000						
備品減価償却累計額		360,000						
資本金		2,500,000						
売上		11,237,000						
仕入	10,750,000							
消耗品費	66,000							
保険料	98,000							
	19,369,000	19,369,000						
売上原価								
貸倒引当金繰入								
有価証券評価 ()								
減価償却費 ()								
() 保険料								
当期純 ()								

授業の感想など	
---------	--